



Y M C A NEWS



神戸青年

No.614

2012.3

March

発行所 日本YMCA同盟 東京都新宿区本塩町7
THE YMCA神戸版 発行人/水野 雄二 編集人/松森 正樹
神戸YMCA 〒650-0001 神戸市中央区加納町2-7-15
TEL. 078-241-7201 FAX. 078-241-7479
URL http://www.kobeymca.or.jp 印刷/わかばやし印刷

神戸YMCA
年間聖句

希望をもって喜び、苦難を耐え忍び、
たゆまず祈りなさい。
(ローマの信徒への手紙12章12節)

西宮つとがわYMCA保育園開園

西宮では新たなYMCAの仲間が、2つ産声を上げようとしています。

ひとつは、神戸YMCAで4つ目の保育園となる「西宮つとがわYMCA保育園」です。この4月に、JR西ノ宮駅の南に位置する定員60名の認可保育園として開園します。

ふたつめは、西宮市立香櫨園小学校における留守家庭児童育成センター(学童保育)です。神戸YMCAが指定管理者として運営しますが、現在の用海小学校、浜脇小学校に続いて、新たに運営受託することになりました。

西宮では、1975年のセンター開設以来、阪神地域の青少年活動を中心に、地域も活動内容も幅広く地域を捉え、活動を行ってきましたが、特に近年、子育て支援、特に西宮YMCAを中心とした地域での、より身近な地域での活動が広がりつつあります。

この4月からは、西宮地域では、園児数は約120名、学童数は約300名となります。これまで以上に、子どもと若者の「いのち」が光り輝くように、野外活動やサポートプログラムで得たものを生かして躍進してまいりますので、なにとぞ応援してください。

阿部 望先生に感謝!

1月7日に行なわれた神戸YMCA125周年の音楽イベント「音楽と祈り～あなたとともに」は音楽でYMCAのミッションを伝える催しでしたが、神戸YMCAの音楽家、阿部望先生のご尽力がこの集いを大成功に導いてくださいました。大野勉さん(神戸ポートワイズメンズクラブ)作のテーマソング「あなた(YMCA)とともに」を、阿部先生が補作くださり、コーラス用に、バイオリン用に、ピアノ用に、そしてハンドベル用にと、いくつものアレンジがなされ、結果、イベントを通して、このテーマソングが繰り返し、違ったアレンジで流れることになりました。



阿部先生(右)

また、125周年イベントでは2011年5月14日に行なわれた「ハンドベルコンサート」でも、神戸YMCAの3つのグループを指揮くださり、感動的なマスリングを聞かせてくださいました。先生のすばらしいご奉仕に心から感謝いたします。 総主事 水野雄二

神戸YMCA125周年、音楽イベント 「あなたとともに」

神戸の地に125年前蒔かれた「からし種」は、その時々の変化を超えて自己を活かし他者を生かす「真理」を伝え続けてきて、あらゆるものが集う大樹となったことは衆知のことですが、そこに踏みとどまるのではなく、常にミッションを自覚し、新しいものへ挑戦し、人々と寄り添って共に喜び合うYMCAへの自覚の時が、この周年の年度であったと思います。

振り返るに、6年前、タスク委員会として125周年に向けての準備が進められ、すべて一からのスタートでありました。それはYMCAの原点であったり、理念やミッションの確認、宗教との関わりなど、すべての要素を鑑みることからの出発であったのは部外者のような私にとっては、大きな収穫となりました。

時を経て、2年前のプロジェクトチームになって、突然に「ミュージカルをやりたい」と言い出してみさんの失笑を買ったのにも関わらず、理解をしていただいたこと大変感謝をし、我慢強くその真意を理解しようと努力していただいた委員や役員の皆様へ改めて敬意を表するものです。



なぜ、音楽を基礎においておきたかったかというところ、大原哲夫氏はその著書【チェリスト、青木十良】飛鳥新社で、若き日に物理学者を志しておられ、転じてチェリストになられた青木十良氏の名演奏は世界各地に知られていて、青木氏によって演奏された音は次々に意識を打ち、あふれるばかりに心を満たし、生命をふるわせる。「なんというチェロの音だ、チェロから放たれた音は楽器を離れ、空気をふるわせ、私の傍らにあった。音に鋼のような強さがある。輝かしい。気品があり、それでいて暖かく、優しい。音は悲しみをたたえ、毅然としているが、人間味にあふれる」と紹介しています。これが音楽を基礎としようと思った理由の一つです。また、あの痛ましい大災害と原発の事故で大変な思いをされた方々と共に生きる思いに立ち、自らもまた自分の人生をしっかりと演奏し、このYMCAに集うあらゆる人々に希望と揺るぎない信仰と目指すべき方向を確認しあいたいと思ったからなのです。

実現までの紆余曲折はありましたが、信頼できる素晴らしいタレントのメンバーや様々なアドバイスをいただいた関係者の方々のおかげで125周年のファイナルがしめくれたことに大いなる感謝を申し上げます。

創立125周年実行委員会プログラム担当チーフ 安行英文



Y M C Aとのつながり

宝塚ワイズメンズクラブ会長 山崎泰男

Y M C A、私の長い人生の中でよく目に・耳にする事はありませんが、遠い異文化の4文字でした。あるワイズメンズの誘いで宝塚ワイズメンズクラブに入会いたしました。が、ワイズメンズクラブとは「健全な青少年の育成や豊かな地域づくりを目指すYMCA運動を応援する奉仕クラブです」の中でY M C Aを明確に意識いたしました。

右も左も分からないまま例会に出席し、会を重ねていくうちにメンバーとも仲良くなり楽しい例会になってきました。しばらくして、バザー委員を任せられ、先輩のあとを追ってチャリティーバザーを手伝い、次年度はバザー委員長を任せられました。Y M C Aとの本場の結びつきをこの時初めて実感いたしました。

自分の息子や娘より若いユースリーダーとバザー商品の整理や区分け、バザー当日のリーダーとの協働には始めは戸惑うところもありましたが、気が付くと指示に対して実にレスポンスが早く、気持ちよく活動していただいた。リーダーのお蔭でバザー会場が活気づいておじさんやおばさん達も俄然張り切り、みんなが一体になってバザーをやります。他にはじゃがいも仕入れ、クリスマスキャロルの夕べ等リーダーとの共同作業は色々ありましたが、私の中ではやはりチャリティーバザーでの繋がりが強く残っています。

Y M C Aの活動を知り、東日本大震災での支援活動、タイワークキャンプの報告やリーダーの色々な体験談を聞いて、Y M C Aの存在価値の意義を知りました。今、日本が抱える問題の中で青少年の育成は大きなテーマです。少子化の中、青少年を如何に育成するかY M C Aのミッションは日本にとって非常に大切なテーマです。そのY M C Aを支援するワイズメンズクラブ、クラブ会員として微力ながら支援していきたい。

源流を心に刻む

総主事 水野雄 一

2006年の神戸YMCA創立120周年の直後から5年をかけて周到な準備がされた創立125周年記念行事がすべて滞りなく、そしてすばらしい感動と果実を残して終了した。1月7日に開催された記念イベント「音楽と祈り」は神戸YMCAの歴史と現在、そして未来を望むにふさわしい感動的なフィナーレで、神戸YMCAに集う幼児からシニアに至る多様な人々が同じステージの上で同じ歌を繰り返し歌いながら、125周年のテーマ「ひとりひとりを大切に」を伝え続けよう。平和・愛・いのちを実感する時となった。私はその感動を噛みしめながら、1986年に開催された神戸YMCA創立100周年記念式典の感動を思い出し、日本は、今と違って高度経済成長が頂点に達しようとする時代であった。神戸YMCAもまた会員数の増加、拠点の増加、財政の拡大など、大きな時代の渦に巻き込まれるように活動の末端が広がっていった時代であった。そのような時代に迎えた100周年。記念すべき多くのイベントが開催され、それぞれに実り豊かな集いであったが、その中で、私は記念式典の礼拝の部で岩井健作牧師（日本キリスト教団神戸教会〈当時〉）が語られた「源流を心に刻む」と題したメッセージを忘れられぬ。

～東日本大震災復興支援活動報告～

2011年12月25日～27日、仙台YMCA主催『南三陸町支援キャンプ「クリスマスをお祝い」』に、神戸YMCA震災復興支援ボランティアユースリーダー10名、スタッフの水野宏明、村上弘の計12名で参加、南三陸町の子どもたちとクリスマスをお祝いし、3日間を共に過ごしてまいりました。

このキャンプは南三陸町に住む小学生と家族を対象にしたもので、小学生参加47名、家族参加10名のほとんどが津波で被災し、仮設住宅で暮らしておられます。

キャンプでは、仙台市内の定禅寺通りで行われていた「SENDAI光のページェント」の見学や、自分の夢を描く「お絵かきプログラム」、クラフト体験、そしてクリスマスパーティーなど盛りだくさんの内容ではありましたが、グループで過ごす時間、家族で過ごす時間も大切にしながらキャンプを進めました。グループの時間では、部屋で遊んだり、外で雪遊びをしたり、ホテルの周辺を散策したりと思い思いに過ごしていました。子どもたちの中には同じ小学校でも、それぞれ距離の離れた仮設住宅からバスで通学しているため、放課後はほとんど友だちと遊ぶことができないという子どもたちもおり、このキャンプで友だちとずっと遊べる、一緒にいられるということが本当に嬉しかったようで、キャンプ中はホテルの至る所で、賑やかな声が聞こえてきました。

今回のキャンプを通じて、私たちはリーダーやお友だちと一緒に元気いっぱい遊ぶ、たくさんの子どもたちに出会いました。そしてたくさん笑顔にふれました。もちろんその笑顔の裏には内に秘める様々な思いがきっとあることと思います。つらい環境の中、笑顔を忘れず、力強く生きる子どもたちのこれからを、長期にわたり見守り、継続的な支援をしていきたいと思っています。

(村上弘)



感謝

125周年協賛金・協力者

(順不同・敬称略)

2011年12月26日

2012年2月8日受付分

学校法人神戸YMCA学園

神野 敬子②

須磨センター社交ダンスクラブ②

島田 保子

*②は、ご協力2回目を表わします。

【寄付金】

山根 貞夫

菅屋ワイズメンズクラブ

神戸YMCAベルクワイヤー



国際協力募金に園児のみなさんと取り組んでくださっている保育園をご紹介します。

ご協力、感謝いたします。

(順不同・敬称略)

社会福祉法人 イエス団

神視保育園

社会福祉法人 神戸婦人同情会

社会福祉法人 青谷愛児園

社会福祉法人 聖ミカエル保育園

社会福祉法人 あゆみ幼児園

社会福祉法人 頌栄会

頌栄保育園

頌栄会

幼稚園 「成長」



幼稚園では3学期に“劇遊び”をします。

子どもは空想することが大好きです。気に入ったお話はすぐに真似て遊び始めます。それがごっこ遊びとなり、やがて劇となります。

クラスで共通の物語（テーマ）を通して、気持ちや考えを話し合うことは言葉を使って互いに通じ合ったり、考え合ったり、深め合うということです。また、物語を聞くことや友だちの話を“聞こう”として聞く”ことで『聞く力』を強めます。言語能力を豊かにし、生きる力をしっかりと身につけて欲しいと願っています。また、感情や情景を身ぶりや手ぶりや音楽に合わせて表現することで補い、先生のナレーションで筋を通していき台詞や動きが固定されてクラスのオリジナルの『劇』が生まれます。

先生たちも一人ひとりをよく見つめながら進めています。子どもたちが生き生きと表現する姿や友だちと共に成長していることを保護者の方と共に喜ぶ場面でありたいと思っています。表現する喜びを感じ、自信をもって進学・進級して欲しいと願っています。



保育園



春がやってきます。5歳児の子ども達は卒園と小学校入学への準備、そして、各クラスは、進級の準備そして春から入園されるお子様の準備が着々と進められています。

西神戸YMCA保育園は、地下鉄学園都市駅より徒歩**秒という、大変便利な位置であると同時に、保育では赤ちゃん（0歳児）から5歳児まで、近隣の公園や広場で遊ぶ機会を多くとりいれています。

「お外でよく見かけますね」と近隣の方や、ご見学の方々からいわれますが、まさにその集団です。

1歳児の子ども達が車で電車が、出発するのを待つシーンの写真です。

子どもの好奇心って大人が考えるよりも、すごく深いですね。春になると…子どもの心をつみつけ続けていきたいですね。



西神戸YMCA保育園

市営地下鉄 学園都市駅南へすぐ。

～神戸YMCA学院専門学校日本語学科交流プログラム～

芦屋ワイズメンズクラブとの交流会

毎年2月上旬、芦屋ワイズメンズクラブの皆さんに、‘本国を離れてさびしい思いをしている留学生を元気付けよう！’と交流会を開催していただいています。今年は2月1日に、東灘区の“ブルーミンメドー”での交流会に神戸YMCA学院専門学校日本語学科の留学生が招待を受け、たのしい交流のひとつをすごすことができました。自己紹介に始まり、それぞれのお国事情の紹介や、神戸の食べ物や名物の話で盛り上がりました。後半は神戸ポートワイズメンズの大野勉さんによる歌の指導があり、留学生たちは日本語の歌に、なれないながらも楽しんでいました。最後には中国からの留学生の『北国の春』も飛び出し、外はとても寒かったですが、暖かい気持ちになって家路につきました。



国際ボランティアユースリーダーとの交流

神戸YMCAには、国際ボランティアユースリーダー会があります。大学生と社会人ユースが、「平和力」をキーワードに、平和教育プログラムや神戸YMCA学院専門学校日本語学科の学生との交流などを実施しています。今回は、ユースリーダーの本木友里さんからの報告です。

年1～2回開催されている日本語学科の学生との交流プログラム、学生たちに遊びや食を通じて日本の文化を体験してもらいながら、新入生・在学生の交流の輪が広がるような活動をしています。また、リーダーも学生から異文化を学ぶ機会になっています。

今回の交流プログラムは、運動会&日本のお菓子がテーマでした。自己紹介では、家族や風景写真を片手に生まれ育った町や自国文化の紹介をしてくださいました。もちろん日本語です。母語でない言語で伝える事は難しいはずですが、皆が笑顔で長い自己紹介をしてくださいました。

運動会では大縄、二人三脚、ドッチボールの3種目。チーム戦の為、皆が1位を目指し一致団結していました。つい1時間前に初めて出会ったのに早くも仲良しなのです。改めて、スポーツの魅力に気が付きました。

運動会後は、正月料理のお雑煮とぜんざい(リーダー作)が待っています。初めて食べる人も多く、まずは料理の写真撮影が始まり、その後皆で食べました。食事中は話が弾む時間でした。

3時間という短い時間ですが、打ち解け、交流の輪が広がりました。各々が持つ他国のイメージと実際の生活の違いを知る事は驚きや感動があると思います。次年度もプログラムを重ね、多くの学生や他のボランティアリーダー会との関わりを増やしていきたいです。



祝! 日本語スピーチコンテスト 全国第3位 入賞

去る1月20日(金)大阪科学技術センターで、第24回全国専門学校日本語学習外国人留学生日本語弁論大会(専門学校日本語学科に在学する外国人留学生対象)が開催されました。神戸YMCA学院専門学校日本語学科は、第1回大会から毎年出場者をおくっており、今年は韓国からの留学生、金珉京(キム・ミンギョン)さんが代表として出場しました。全国各校からの代表の出場とあって、スピーチのレベルはとて高く、内容も考えさせられるものが多い大会でした。ハイレベルのスピーチの中、本校代表の金さんは、日本に来てありがたいの言葉に接した体験をもとに、「不思議な言葉」という5分間のスピーチを行い、全国で第3位の栄誉に輝きました。毎日熱心に練習をしていた賜物であると同時に、神戸YMCA日本語教育の質の高さが立証されたスピーチでした。



おめでとう金さん!
そしてありがとう
金さん!

「Staff of the Year 2011」

2011年度に、ひととき献身的な働きをした職員・講師を表彰する制度 Staff of the Year 2011に、6名の方々が選ばれ、1月4日の新年職員礼拝にて、中道副理事長より表彰されました。



阪田晃一さん(余島センター)
ICT活用による余島広報、秋のファミリーウィークエンドのプランニングなどによる貢献



村上弘さん(太山寺児童館)
東日本大震災復興活動、太山寺児童館での新規事業への取り組み



川井紗央里さん(カレッジ)
専門学校とウェルネスセンターとの橋渡し、学生参画、F&S学科募集停止へのケア



村上みゆきさん(須磨センター)
須磨学童保育事業への貢献、特に保護者ケア、小学校へのパイプ役としての役割



田中雅代さん(西神戸プランチ)
多種事業の西神戸の事務の要としての貢献、保護者対応、メンバー増強への貢献



清水浩一さん(三田センター)
三田センター事務所移転、三田地域活動における地域評価、サッカーコンピニーターとしての貢献

シリーズ 11ヶ月のまじり

神戸YMCAは、国際協力募金運動のプロジェクトとして、タイ・チェンマイYMCAとの協力のもと、1884年よりタイ北部農村でのワークキャンプを実施しています。これまで日本から約400名のキャンパーが参加し、職業訓練所、保育所、水道供給設備、植林、橋、校内図書館・教室等を建設してきました。村ではタイの青年とともに農村にホームステイし、寝食をともにしつつ人と人との出会い、交流を最も重要な基盤として互いの歴史や文化に触れ、学び合い、ともに働きます。2003年度からはアメリカ・シアトルYMCAとラオスの青年が参加するようになり、多文化・多言語・多国籍キャンパーとなっています。

昨年3月は11名の日本人キャンパーがタイ北部プラー県の村で、広汎性発達障害が子供のために椅子でも使用できるトイレ学習室を建設しました。慣れない環境での生活でしたが、それぞれが日常では得られない体験をしました。帰国後、キャンパーはその貴重な体験を一人でも多くの人たちに伝えたいと願って活動しています。

神戸YMCAでの報告会はもちろんのこと、さまざまな機会を得ては、それぞれが体験したことを伝えていきます。また、チェンマイYMCAの農村開発事業を支援する目的で、チェンマイYMCAが農村に委託している民芸品を販売し、神戸YMCAの各バザーで販売した売上をチェンマイYMCAに還元するという活動を行っています。

現在、今年3月に実施する第29回タイワークキャンプの事前研修を行なっています。また新たなキャンパーがタイ北部農村の村を訪問し、新しい仲間に出会い、交わり、ともにさまざまな気づきが得られるように願っています。



【第29回タイワークキャンプ】
日程: 2012年3月10日(土)～3月23日(金)

訪問地: チェンライ県トゥーン郡
建設物: 校内学習センター
(環境教育・有機農業を学ぶ施設)

ウエルネスセンター三宮 ☎078 (241) 7202
 YMCAホームヘルパーの事務所 ☎078 (241) 7237
 ランゲージセンター ☎078 (241) 7204
 専門学校 ☎078 (241) 7203
 西宮YMCA ☎0798 (35) 5987
 三田YMCA ☎079 (559) 0075
 余島野外活動センター ☎0879 (62) 2241
 国際・奉仕センター ☎078 (241) 7204



ウエルネスセンター学園都市 ☎078 (793) 7401
 西神戸YMCA ☎078 (793) 7402
 西神南YMCA ☎078 (993) 1560
 須磨YMCA ☎078 (734) 0183
 YMCA保育園 ☎078 (794) 3901
 西宮YMCA保育園 ☎0798 (35) 5992
 西神戸YMCA保育園 ☎078 (792) 1011
 YMCAちとせ幼稚園 ☎078 (732) 3542
 西神戸YMCA幼稚園 ☎078 (997) 7705

卒業リーダー感謝

今年も学生時代の貴重な時間と力をささげ、YMCA活動の担い手になってくださったボランティアリーダーの皆さんが巣立っていきます。リーダーのご奉仕に心から感謝すると共に、奉仕活動を通して彼らが得たものがこれからの糧になることを願っています。

以下は、この春に卒業するリーダーの皆さんです。(順不同)

赤松由梨	岸川礼奈	石原彩未	坂本晃子	高崎悠
穴田有紀	佐々木麻衣	願永朱理	橋本敦子	納富明奈
石原尚英	西崎由莉	梨本あかり	本田石幸子	足嶋原章
市坪知子	畑守理予	藤原亜美	小田美津紀	日原郷唯
上野知未	三石友恵	宮永立夏	栗原直子	藤原郷健
江原芳子	森尾ほのか	足立康正	石坂尚太	丸田谷道
戎翔子	横山侑紀	今出川友里	大垣明心	矢山田本
大村友嘉	伊藤絵理	大澤貴志	大北口真	山本
岡田紗也	土岐美沙子	佐藤藤碧	小西	山
金尾千尋	高砂健人	川端ゆりか		山

Photo Topics



第15回中西日本YMCAユースバスケットボール大会 1/21(土)~22(日)
 中西日本地区のYMCAからメンバー、リーダー総勢350名が集まり、日頃の成果を試すべく、熱戦が繰りひろげられました。



西神戸YMCAの幼児教室 おもちつき
 お父さん、お母さん、おじいちゃん、おばあちゃん、そしてお友だちやリーダーと一緒に餅つきをしました。つきたてのおもちをたくさんいただきました。



専門学校ホテル学科模擬挙式 1/26(木)
 ホテル学科のプライダルコース2年生が企画し、準備された模擬挙式が行なわれました。本番さながらの進行で、思い深い演出がなされていました。



第25回中西日本YMCAジュニア体操大会 1/29(日)
 大阪、奈良、神戸、広島、北九州の5つのYMCAから113名のお友だちが参加。素晴らしい演技の連続でした！



カレッジ 冬の日本語集中コース 1/29(日)~2/9(木)
 日本語の学習はもちろん、フィールドトリップなどを通して様々な角度から日本を体験しました。これは大阪トリップの様子です。(台中Y・彰化Yからのグループ)



酒蔵見学 1/21(土)
 三宮ランチのクラブ幹事会主催の酒蔵見学に行ってきました。お酒が出来るまでの工程を見学し、出来たての新酒を試飲してきました。

イースター 早天礼拝のご案内

日 時：2012年4月8日(日) 午前7時～
 場 所：神戸東遊園地(雨天：神戸YMCAチャペル)
 奨 励：芹野 創 牧師(日本基督教団甲南教会牧師)

★★ 個人消息 ★★

【ご逝去】 慎んでお悔やみ申し上げます。
 2/12 山本正高兄(ウエルネスセンター学園都市) ご尊父様
 2/17 岡 重里姉(YMCA保育園) ご祖母様